

## 目次

健康および安全性の注意	3
一般的な使用上の注意	3
1. 概要	4
1.1. パッケージ内容	5
1.2. 最小システム要件	6
1.3. LaCie ハード ディスクの外観	7
1.4. ケーブルおよびコネクタ	8
1.4.1. USB ケーブルおよびコネクタ	8
1.4.2. eSATA ケーブルおよびコネクタ	9
2. 接続	10
2.1. 電源の接続	11
2.2. インタフェース ケーブルの接続	12
2.3. LaCie Setup Assistant を起動する	13
2.4. LaCie Rugged XL を取り外す	14
2.5. インタフェースの切り換え	14
3. フォーマットおよびパーティション (オプション)	15
3.1. ファイル システム フォーマットの決定	16
3.2. フォーマット : Windows をご使用の方	17
3.2.1. FAT32 から NTFS へのフォーマット	17
3.2.2. HFS+ (Apple ファイルシステム) から NTFS へのフォーマット	19
3.3. フォーマット : Mac をご使用の方	21
4. トラブルシューティング	22
4.1. Mac のトラブルシューティング	22
4.2. Windows のトラブルシューティング	25
5. カスタマ サポートへの問い合わせ	27
5.1. LaCie カスタマ サポートへの問い合わせ	28

### ■ ご注意 ■

日本市場でのLaCie商品販売はエレコム株式会社が行っております。  
LaCie製品は海外でも幅広く販売されており、LaCie社が管理・運営するグローバル  
サイト、Webリンク先の情報、商品、ソフトウェア、サービス等は、日本市場でお取り  
扱いの無い、またはサポート対象外のものも含まれます。あらかじめご了承ください。

## 著作権

Copyright © 2011 LaCie. All rights reserved. 電子、機械、コピー、記録など、様式や手段の如何を問わず、本書のいかなる部分も当社の書面による事前の承諾なしで複製、読み出しシステムでの保存、伝送を行うことを禁じます。

## 商標について

Apple、Mac および Macintosh は、Apple Computer, Inc. の登録商標であり、Microsoft、Windows 98、Windows 98 SE、Windows 2000、Windows Millennium Edition、Windows XP、Windows Vista および Windows 7 は、Microsoft Corporation の登録商標です。本マニュアルに記載されているその他の商標は、関連各社に帰属します。

## 変更について

本マニュアルに記載されている情報は参考のみとして提供され、予告なく変更することがあります。本書の作成にあたっては正確さを期していますが、本書に掲載された情報の誤謬または省略に起因する、あるいは本書に記載する情報を利用した結果により生じる損害に対して、当社は一切の責任を負いません。当社は、無条件で製品の設計または製品マニュアルの変更や改訂を予告なく実施する権利を有します。

## カナダ適合規定

本クラス A デジタル機器は、カナダ干渉発生機器規定 (Canadian Interference-Causing Equipment Regulations) のすべての要件を満たしています。

## FCC Statement



本機器は、FCC 規則のパート 15 に準拠しています。操作は次の条件に基づきます。

1. 本装置は有害な電波障害の原因となってはならない。
2. 本装置は誤動作の原因となる妨害を含め、受信する妨害を許容しなければならぬ。

注記：本機器は、FCC 規則 Part 15 に定められたクラス B デジタル装置に関する規制要件の試験に合格し、同規則に準拠することが証明されています。これらの規定要件は、住宅に設置する際、有害な干渉から適切に保護するために定められています。本機器は、無線周波数帯域のエネルギーを発生、使用し、これを放射する場合もあります。また、本取扱説明書の指示に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な干渉をもたらす場合があります。ただし、特定の設置方法において干渉が発生しないという保証はありません。本機器がラジオ、テレビの受信に有害な干渉をもたらす場合（これは本機器の電源のオン/オフにすることにより判断できます）、次の方法により干渉の解決を試行することをお勧めします。

- ◆ 受信アンテナの向き、または位置を変える。
- ◆ 本機器と受信機の距離を離す。
- ◆ 受信機が接続されているものとは異なる別系統のコンセントに、本機器を接続する。
- ◆ 販売代理店または経験を積んだラジオ/テレビ技術者に相談する。

LaCie の承認を受けずに本機器に変更または修正を加えると、FCC およびカナダ適合規定に違反し、ユーザーは本機器を操作する権利を失うことがあります。

## CE CE 認証に関するメーカーの宣言

当社は、本機器が以下の欧州規格に準拠していることを明言します。 Class B EN60950、EN55022、EN55024

下記条件に関して： 2006/95/EC 低電圧指令、2004/108/EC EMC指令



本製品または梱包箱に示されたこの記号は、本製品を他の家庭廃棄物と一緒に廃棄してはならないことを意味します。電気・電子製品廃棄物をリサイクルする所定回収場所に該当機器を持ち込んで処分する責任は、ユーザーにあります。他のゴミと分別して、機器廃棄物の回収やリサイクルを行うと、自然資源の保護に役立ち、人の健康や環境を保護するような方法でリサイクルが行えます。使用済み機器をリサイクルする際の回収場所に関する詳細は、お住まいの地方自治体の家庭廃棄物担当部署または本製品を購入された販売店へお問い合わせください。

**注意：** FCC の定める電波規制に適合し、さらに周辺のラジオやテレビ受信に干渉を引き起こさないよう、必ずシールドタイプの電源コードを使用してください。必ず、付属の電源コードのみを使用してください。

## 健康および安全性の注意

- ◆ 本製品の保守作業は、有資格者のみが行えます。
- ◆ デバイスの設定にあたっては、本ユーザー マニュアルを十分に読み、正しい手順に従ってください。
- ◆ デバイスを開けたり、分解、改造は行わないでください。感電、火災、ショート、有害な放出などの危険を避けるために、ドライブに金属物を挿入しないでください。LaCie Rugged XL には、お客様ご自身で修理可能な部品は一切含まれていません。故障が起きたと思われる場合は、資格を有する LaCie テクニカル サポート担当者に点検をご依頼ください。
- ◆ デバイスを雨に晒したり、水の近く、または湿気の多い場所、濡れた状態で使用しないでください。装置の上には、中に液体の入ったものを置かないでください。こぼした場合に、装置の開口部分から液体が中に入る恐れがあります。これにより、感電、ショート、火災、けがなどの

危険性が高まります。

- ◆ コンピュータおよびデバイスの電気アースが取られていることを確認してください。デバイスのアースを取っていないと、感電の危険性が高くなります。電源要件は、100-240 V~、1.5 A、60~50 Hz となっています (過電圧カテゴリ II に従って、供給電源の変動範囲は公称、過渡過電圧の  $\pm 10\%$  以内に収まるようにしてください)。

## 一般的な使用上の注意

- ◆ デバイスは、温度 5°C ~ 35°C、動作湿度 5 ~ 80% (結露なし)、保管湿度 10 ~ 90% (結露なし) の範囲内で使用し、その範囲外の温度や湿度には晒さないでください。この温度範囲外で使用すると、LaCie Rugged XL が損傷したり、ケースが変形することがあります。また、熱源の近くに置いたり、直射日光 (窓越しの直射日光も同様) に当てないでください。逆に、極端に低温の場所または湿気の多い場所に置くと、LaCie Rugged XL が損傷する恐れがあります。
- ◆ 落雷の恐れがある場合、または長時間使用しない場合は、必ずデバイスのプラグをコンセントから抜いてください。プラグを差し込んだままにすると、感電、ショート、火災の危険性が高まります。
- ◆ デバイスに同梱されている電源装置のみを使用してください。
- ◆ デバイスをテレビ、ラジオ、スピーカーなど他の電気器具の近くで使用しないでください。そのような器具の近くで使用すると干渉を起こし、他の製品の動作に悪影響を及ぼします。
- ◆ デバイスをコンピュータのディスプレイ、テレビ、スピーカーなど、磁気干渉を起こすものの近くに置かないでください。磁気干渉により、LaCie Rugged XL の動作や機能

の安定性に影響を及ぼすことがあります。LaCie Rugged XL の上に重いものを載せたり、過度の負荷をかけないでください。

- ◆ 問題に気づいた場合は、本書の「トラブルシューティング」を参照してください。

**注意：** 上記の注意事項を遵守しないことによって生じた障害については、本製品の保証対象外となります。

**重要な情報：** 本製品の使用中に生じたデータのいかなる損失、改悪、破壊は、お客様ご自身の責任であり、いかなる場合であっても当社はそのデータの回復または修復について責任を負いません。データの損失を避ける手段の 1 つとして、データのコピーを 2 部取ることをお勧めします。たとえば、1 部を外付けハード ディスクに取り、もう 1 部を内部ハード ディスクや別の外付けハード ディスク、またはリムーバブル ストレージメディアに取ります。LaCie では、CD、DVD およびテープドライブの豊富な製品ラインを提供しています。バックアップについて詳しくは、当社の Web サイトをご覧ください。

**重要な情報：** 1GB は 10億 (1,000,000,000) バイトです。1TB は、1000 GB です。フォーマット後に実際に利用可能なストレージ容量は、動作環境によって異なります (通常 5 ~ 10% 減)。

## 1. 概要

10 年以上に渡る卓越したデザインの経験を基に、LaCie では、機能をハイテクと融合するタイムレスな新しいラインのハード ディスクを作り上げました。この最新のハード ディスクは、特定アプリケーションを通じてお客様を強力にサポートする、パフォーマンス ベースのソリューションです。

LaCie Rugged XL は、スピード重視のアプリケーションに理想的で、高まるデータのニーズにも十分応えます。LaCie Rugged XL は安全性と安定性を兼ね備え、コンピュータに空き領域を追加するために最適な手段です。

### LaCie Rugged XL の機能

- ◆ すべての標準 USB および eSATA のインターフェイスに接続可能。
- ◆ eSATA 接続時で 3 Gbits/s のスループット
- ◆ コンピュータ内蔵のハード ディスクのバックアップが可能
- ◆ 特別に設計されたケースは、衝撃や打撃、過酷な環境からハードディスクを保護することが可能です。

### クイック リンク

ここをクリックして次のセクションに移ってください:

- ◆ 接続
- ◆ フォーマットおよびパーティション (オプション)
- ◆ トラブルシューティング



## 1.1. パッケージ内容

LaCie Rugged XL および以下の 2 ~ 6 のアイテムが格納されています。

1. LaCie Rugged XL
2. USB ケーブル
3. eSATA ケーブル
4. 外部電源装置
5. クイック インストール ガイド

---

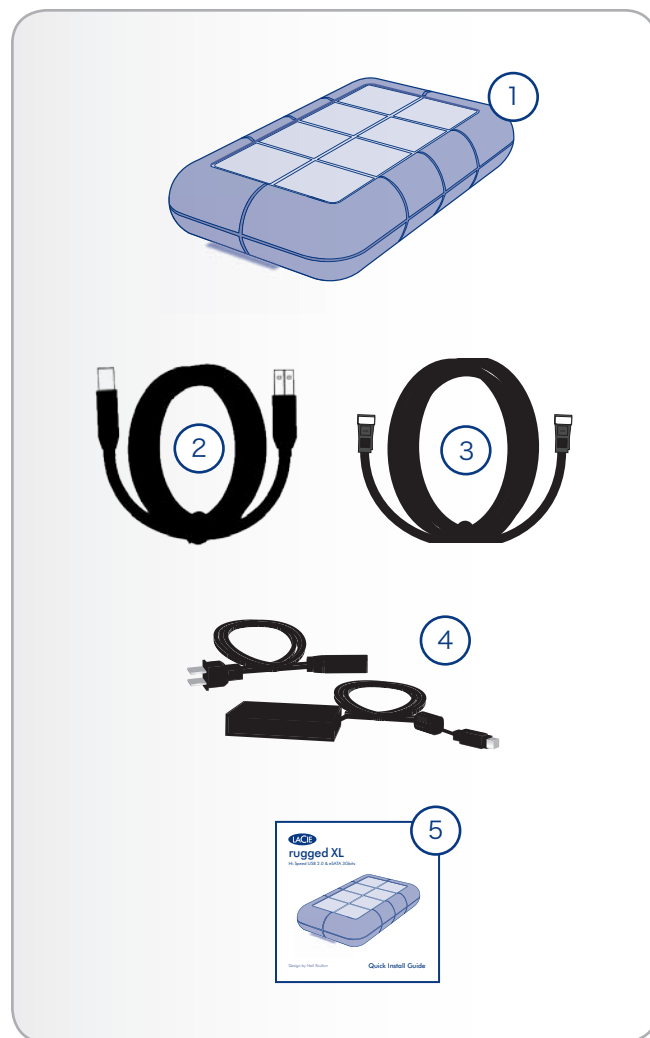
**注記:** ユーザーマニュアルとソフトウェア ユーティリティは、あらかじめハード ディスクにロードされています。

---

---

**重要な情報:** 購入時の梱包材は保管しておいてください。LaCie ハード ディスクの修理または点検が必要になった場合、必ず製品の包装箱に梱包してご返送ください。

---



## 1.2 最小システム要件

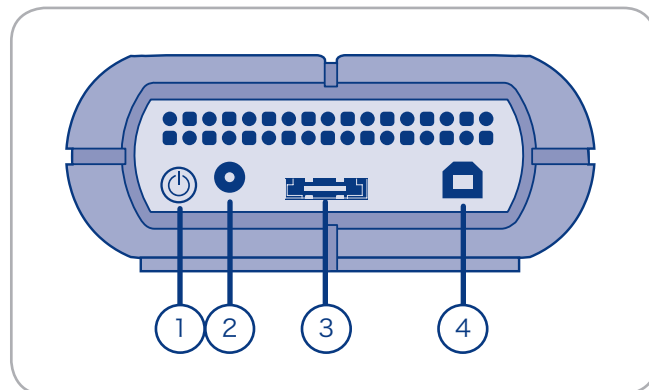
LaCie 製品のご使用に際しては、一定のシステム要件を満たす必要があります。最新のシステム要件情報に関しては、製品のパッケージ もしくは <http://www.lacie.jp/external/index.html> の仕様 ページをご参照ください。

---

## 1.3. LaCie ハード ディスクの外観

### 背面図

1. オン/オフ スイッチ
  2. 電源入力ジャック
  3. eSATA ポート
  4. Hi-Speed USB 2.0 ポート
- 



## 1.4. ケーブルおよびコネクタ

### 1.4.1. USB ケーブルおよびコネクタ

USB は、周辺装置とコンピュータを相互に接続するためのシリアル入力/出力テクノロジーです。Hi-Speed USB 2.0 は、この規格の最新の実装であり、ハード ドライブ、CD/DVD ドライブ、デジタル カメラなどの高速デバイスをサポートするために必要な帯域とデータ転送速度を提供します。

#### USB 2.0 ケーブル

Hi-Speed USB 2.0 ポートに接続したときに最大のデータ転送パフォーマンスを確保するために、本製品には Hi-Speed USB 2.0 ケーブルが付属しています。ケーブルは、USB 1.1 ポートに接続しても機能しますが、ハードディスクのパフォーマンスは USB 1.1 の転送速度に制限されます。



USB ケーブルの両端子

#### Hi-Speed USB 2.0 の利点

- ◆ 下位互換性：Hi-Speed USB 2.0 は、初代 USB 仕様でも動作します。
- ◆ ホットスワップ可能：デバイスを追加または取り外すときに、コンピュータをシャットダウンしたり再起動する必要がありません。



## 1.4.2. eSATA ケーブルおよびコネクタ

LaCie Rugged XL は、最新 SATA テクノロジーを採用して最大 3Gbits/s の転送速度を実現します。SATA テクノロジーは当初、内部インタフェースとして開発され、コンピュータ内部の接続の性能を改善しました。その後すぐに、eSATA (SATA の外付け規格) が開発され、PC 外部でシールドケーブルを使えるようになりました。

eSATA テクノロジーは堅牢性と耐久性を高めるために開発され、eSATA コネクタには、その他の SATA コネクタで見られる L 字形のデザインはありません。加えて、ガイド機能は垂直オフセットとなっており、外付けアプリケーションで非シールドの内部ケーブルが使用できないように、サイズが縮小されています。

### eSATA ケーブル

本製品には eSATA ケーブルが同梱されています。



eSATA ケーブルの両端子

### eSATA の利点

- ◆ eSATA インタフェースは、最大 3 Gbits/s の転送速度を達成します。
- ◆ プラグの方向 - コネクタの外側に突起があるため、差込時にコネクタのガイドと位置合わせが簡単にできます。
- ◆ ホットプラグをサポート - eSATA により、システムの電源を切ったり、リブートを行わなくても、ハードディスクの取り付けおよび取り外しができます。差し込みが簡単な千鳥状に並んだピンを使用しており、その規格はデバイスの検出と、突入電流の受動的および能動的限界を保証します。

## 2. 接続

LaCie Rugged XL は、すべてのユーザーにとってオペレーティング システムに関係なく LaCie Setup Assistant を使うことによって簡単にインストールできます。 LaCie Rugged XL のインストールは、次の 3 つの手順で行います。

- ◆ ステップ 1- 電源を接続します (セクション 2.1)
- ◆ ステップ 2 – インタフェース ケーブルを接続します (セクション 2.2)
- ◆ ステップ 3 – LaCie Setup Assistant を実行してシステムで最適なパフォーマンスをするようにドライブをフォーマットします (セクション 2.3)

---

**重要な情報：** 一度に複数のインタフェースを接続しないでください。 インタフェースを切り替えるには、セクション 2.5 「[インタフェースの切り替え](#)」の手順に従ってください。

---

---

**重要な情報：** LaCie ハード ディスクが正しくお使いのコンピュータにマウントされるように、設定手順の順序に従ってください。

---

## 2.1 電源の接続

1. 電源コードを電源装置に接続します。
2. 電源を LaCie Rugged XL に接続して、アースされている壁のコンセントまたはサージ プロテクタに接続します。
3. 背面の電源スイッチを使ってドライブをオンにします。

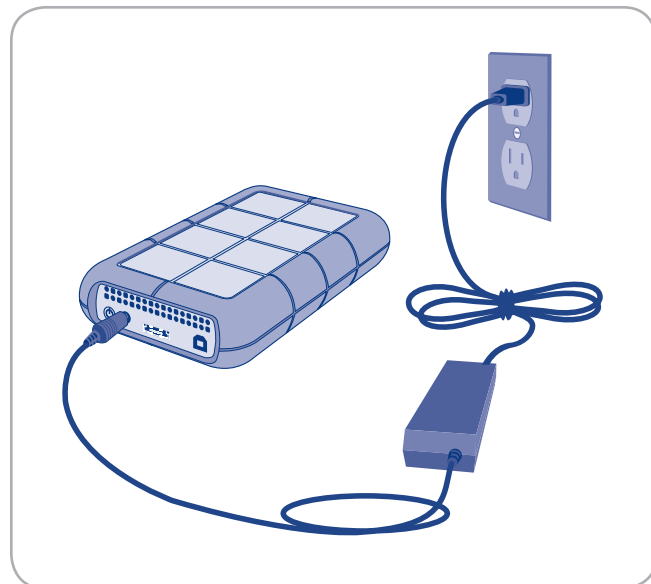


図 2.1

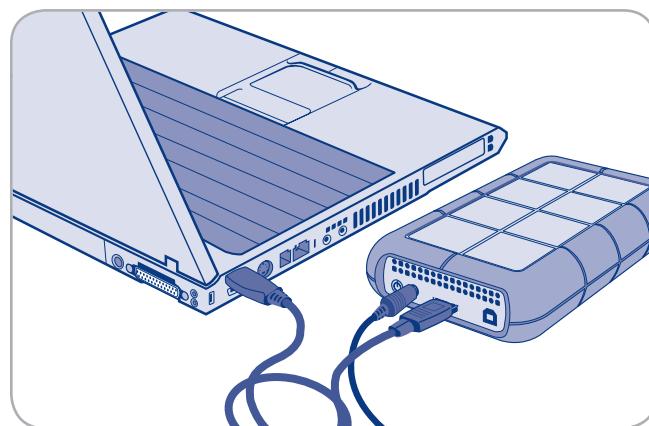
## 2.2. インタフェース ケーブルの接続

### USB 2.0 または eSATA

**重要な情報：** インタフェース ケーブルを接続する前に電源を接続し、ボリュームが正しくコンピュータにマウントされるようにします。

インタフェース ケーブルを接続するには:

1. **2.1. 電源の接続**を参照して電源を接続してください。
2. インタフェース ケーブルの端をコンピュータに接続します。
3. インタフェース ケーブルのもう一方の端を LaCie Rugged XL の対応するポートに取り付けます。
4. 数秒すると、ハード ディスクがコンピュータにマウントされ、[マイ コンピュータ] (Windows の場合) またはデスクトップ (Mac の場合) に表示されます。
5. セクション **2.3. LaCie Setup Assistant を起動する**



## 2.3. LaCie Setup Assistant を起動する

ドライブを使用する前に、LaCie Setup Assistant ソフトウェアを起動してドライブをフォーマットする必要があります。以下の内容が実行されます。

- ◆ 用途にあわせてハード ディスクを最適化
- ◆ マニュアルおよびユーティリティを LaCie ハード ディスクにコピーする

---

**重要な情報：** LaCie では、セットアップが完了したときにユーザー マニュアルおよびユーティリティをコンピュータの内部ハード ディスクまたはその他のメディアにコピーすることを推奨します。

---

### LaCie Setup Assistant を起動するには:

Windows をご使用の方： [マイ コンピュータ] の [LaCie] アイコンをダブルクリックします。

Mac をご使用の方： デスクトップに表示される [LaCie Setup Assistant] アイコンをダブルクリックします。

---

**重要な情報：** LaCie Setup Assistant を起動していなかったり、またフォーマットの完了前にLaCie Setup Assistant を終了してしまうと、ハード ディスクの使用準備が整わないため手動でフォーマットする必要があります。ユーザー マニュアルやユーティリティもハード ディスクにコピーされませんので、次の LaCie Web サイトから自分でダウンロードする必要があります。 [www.lacie.jp](http://www.lacie.jp)

---

---

**技術面での注意：** LaCie Setup Assistant を使った場合も、ご利用のコンピュータの標準のディスク ユーティリティプログラムで LaCie ディスクのフォーマットやパーティションを行えます。Setup Assistant を完了させた後、コンピュータの標準のディスク ユーティリティ (Windows の場合はディスクの管理、Mac の場合はディスク ユーティリティ) でハード ディスクを再フォーマットできます。詳しくは、3. 「フォーマットおよびパーティション」を参照してください。

---

## 2.4. LaCie Rugged XL を取り外す

eSATA および USB 外部デバイスは「プラグ アンド プレイ」接続性を持っており、そのためドライブはコンピュータの動作中に接続・取り外しできます。ただし、故障を防ぐため、LaCie Rugged XL を取り外すときにはこれらの手順に従うようにしてください。



### Windows をご使用の方

1. 画面右下にある システム トレイから、[ハードウェアの安全な取り外し] アイコン (ハードウェアの上に小さい緑色の矢印が描かれたイメージ) をクリックします。
2. このアイコンが管理するデバイスを一覧表示した「...を安全に取り外します」というメッセージが表示されます。このプロンプトで LaCie ハードディスクをクリックします。
3. ここで、「ハードウェアを安全に取り外すことができます」という (またはこれに類似した) メッセージが表示されます。以上で、LaCie ハードディスクを安全に取り外せます。



### Mac をご使用の方

1. ハード ディスク アイコンをごみ箱にドラッグします。
2. デスクトップからアイコンが消えたら、ハード ディスクを取り外せます。



## 2.5. インタフェースの切り換え

eSATA および USB 外部デバイスは「プラグ アンド プレイ」接続性を持っており、そのためドライブはコンピュータの動作中に接続・取り外しできます。しかし、故障を防ぐために、インタフェースの切り替え前にドライブのマウントを解除するかまたはドライブを安全に取り外すことが重要です。適切な取り外し手順については、セクション [2.4. LaCie Rugged XL を取り外す](#) を参照してください。

## 3. フォーマットおよびパーティション (オプション)

LaCie ハード ディスクをお使いになるのが初めての場合、LaCie Setup Assistant によって、ハードウェアに必要とするフォーマットを行います。また必要に応じて、ハード ディスクを再フォーマットし、Windows、Mac、またはクロスプラットフォーム用に最適化できます。例えば、LaCie Setup Assistant を使用しハードディスクをMac (HFS+) 仕様にフォーマットしたが、Windows ユーザーと共有する必要が出てきた場合、ハードディスクをFAT 32 (MS-DOS) へ再フォーマットすることができます。

LaCie Setup Assistant が中断または停止された場合には、LaCie Rugged XL をフォーマットすることが必要になります。ハード ディスクが [マイ コンピュータ] (Windows) またはデスクトップ (Mac) に表示されない場合は、適切にフォーマットされていません。

### フォーマットについて

ハード ディスクをフォーマットすると、オペレーティング システムにより、ディスク上の管理情報の全消去、全セクタの信頼性を確認するためのディスクのテスト、不良セクタ (ひっかき傷などの物理的破損のあるセクタ) のマーク、あとで情報の検索に使用する内部アドレス テーブルの作成が行われます。データを保存できるようにするには、ハード ディスクをフォーマットする必要があります。

### パーティションについて

ハード ディスクをパーティションと呼ばれるセクションに分割することもできます。パーティションとは、ファイルやデータを保存するために作成される、ハード ディスクのストレージ容量のセクションです。たとえば、ハード ディスク上に 3 つのパーティションを作成し、それぞれ、オフィス文書用、バックアップ用、マルチメディアファイル用とすることができます。家庭やオフィスでハード ディスクを共有する場合は、ハード ディスクを使用するユーザー毎にパーティションを作成できます。パーティションの作成はオプションです。

**重要な情報：** 再フォーマットを行う前に、ユーザー マニュアルとユーティリティをコンピュータにコピーしてください。再フォーマットするとハード ディスクから全データが消去されます。保護したいその他のデータ、あるいは継続して使用したいその他のデータがある場合は、その情報をコンピュータにコピーした上で再フォーマットしてください。

### ファイル システムフォーマット

ファイル システムには FAT 32、FAT 32 (MS-DOS)、Mac OS 拡張 (HFS+) の 3 つのカテゴリがあります。次の情報を参照して最適なフォーマットを決定してください。

#### 次の場合は NTFS を使用します。

ハード ディスクを Windows XP、Windows Vista または Windows 7 でのみ使用する場合。一般に FAT 32 に比べ、高いパフォーマンスを得られます。このファイル システムは、Mac OS X 10.3 以降で、読み取り専用モードに対応しています。

#### 次の場合は HFS+ を使用します。

ハード ディスクを Mac でのみ使用する場合。一般に FAT 32 に比べ、HFS+ のほうが優れたパフォーマンスを得られます。このファイル システムは、Windows OS に対応していません。

#### 次の場合は FAT 32 (MS-DOS) を使用します。

...ハード ディスクを Windows と Mac OS。単一のファイル サイズは最大 4GB です。

## 3.1. ファイル システム フォーマットの決定

次の場合には、使用している LaCie ハード ディスクの現在のファイル システム フォーマットを知っている必要があります。

- ◆ LaCie ハード ディスクを再フォーマットする場合。現在のファイル システム フォーマットが、再フォーマットに使用するプロセスを決定します。
- ◆ LaCie ハード ディスクがコンピュータ上に表示されていない場合。この場合は、ファイル システム フォーマットによってオペレーティング システムが LaCie Rugged XL を認識するのを妨げられている場合があります (例: HFS+ でフォーマットされたハード ディスクを Windows コンピュータに接続する場合)。



### Windows をご使用の方

1. [マイ コンピュータ] アイコンを右クリックし、表示されるオプション メニューから [管理] を選択します。[コンピュータの管理] ウィンドウが表示されます。
2. [記憶域] から **ディスクの管理** を選択します ([ディスクの管理] オプションを表示するには、[記憶域] リストを展開することが必要な場合があります)。コンピュータに接続されているすべての記憶域デバイスに関する情報が右側のペインに表示されます。
3. LaCie ハード ディスクに対応するディスクを見つけます。

---

**注記:** [ディスク 0] は、内蔵ハード ディスクです。その他の記憶デバイスがコンピュータに接続されている場合は、上のペインに表示されるディスク情報を参照して、どのディスクが LaCie ハード ディスクかを判別します。

---

4. 上のペインのファイル システム欄は、それぞれのディスクのファイル システムを一覧表示しています。ディスクは [NTFS]、[FAT32] またはブランク (HFS+ などで、ファイル システム フォーマットが認識されていない場合) として表示されます。



### Mac をご使用の方

1. [Finder] の [移動] メニューから Utilites を選択します。
2. ディスク ユーティリティを開きます。
3. [ディスク ユーティリティ] ウィンドウの左側にあるディスク リストで、LaCie ハード ディスクに対応するディスクを見つけます。
4. それぞれのディスクは、2 つのリストがあります。下のインデントされたディスク名を選択します。
5. [ディスク ユーティリティ] ウィンドウの一番下にある情報領域の **フォーマット** 行を参照してください。



## 3.2. フォーマット: Windows をご使用の方

開始する前に、ドライブをコンピュータに接続して、セクション 3.1 のステップに従って LaCie Rugged XL のファイルシステム フォーマットを探してください。

- ◆ 使用しているディスクが FAT32 ボリュームとしてフォーマットされている場合は、セクション 3.2.1. FAT32 から NTFS へのフォーマットに進んでください。
- ◆ 使用しているディスクが HFS+ ボリュームとしてフォーマットされている (または Windows で認識されない) 場合は、ここをクリックするか、またはセクション 3.2.2. HFS+ からのフォーマットに進んでください。

### 3.2.1. FAT32 から NTFS へのフォーマット

LaCie Setup Assistant を使用して LaCie ハード ディスクに Windows と Mac コンピュータ間のデータ共有用の交換ボリュームを作成した場合、または Mac 上で LaCie ハード ディスクを FAT32 ボリュームとして再フォーマットした場合は、次の手順に従ってください。

**注意：** この手順に従うと、ハード ディスクから全データが消去されます。保護したい情報や今後も使用したい情報がある場合は、手順を実行する前にバックアップを取ってください。

1. [マイ コンピュータ] を右クリックし、[管理] (図 3.2.1-A) を選択します。[コンピュータの管理] ウィンドウが表示されます。
2. [記憶域] から **ディスクの管理** を選択します ([ディスクの管理] オプションを表示するには、[記憶域] リストを展開することが必要な場合があります)。図 3.2.1-B を参照してください。コンピュータに接続されているすべての記憶域デバイスに関する情報が右側のペインに表示されます。
3. LaCie ハード ディスクに対応するディスクを見つけます。FAT32 ボリュームのディスク割り当てバーを右クリックして、右クリック オプション メニューから **フォーマット...** を選択します (図 3.2.1-B)。

**技術面での注意：** LaCie Setup Assistant を使用して交換ボリュームを作成していない場合は、ディスクに関連付けられているボリュームは 1 つのみです。

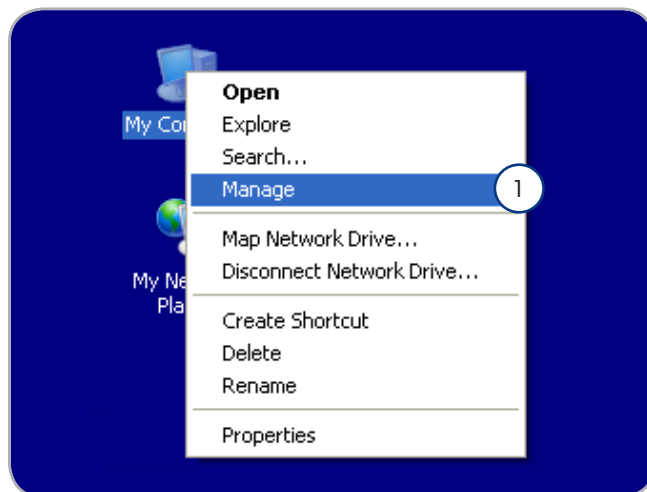


図 3.2.1-A

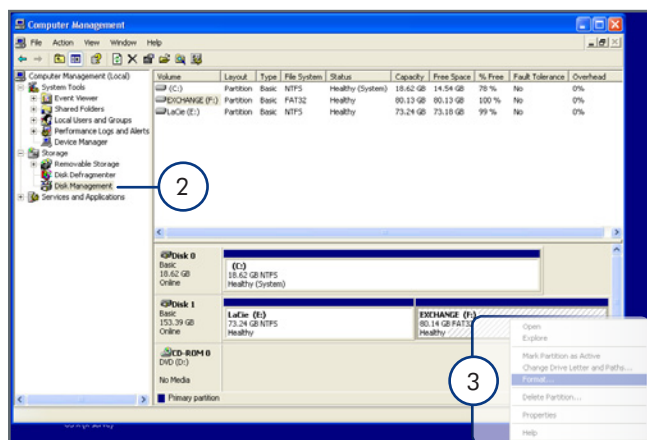


図 3.2.1-B

次のページに続く

4. [フォーマット] ウィンドウで:

- コンピュータ上で表示するディスクの名前を ボリューム ラベル フィールドに入力します。
- [クイック フォーマットする] を選択します。
- その他のオプションはデフォルト値のままにして、OK をクリックします。

5. フォーマット確認ダイアログ で OK をクリックします。 フォーマット プロセス中に、[コンピュータの管理] ウィンドウのディスクのステータスが「フォーマット中」に変わります。 フォーマットが完了したら、ステータスは [正常] に変わります。 図 3.2.1-D を参照してください。

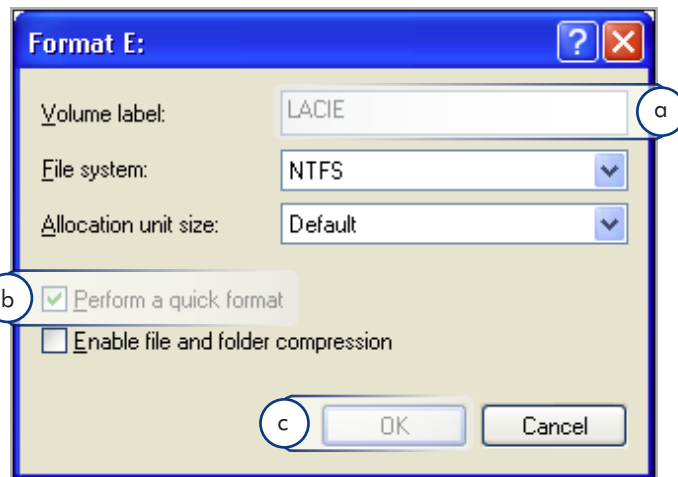


図 3.2.1-C

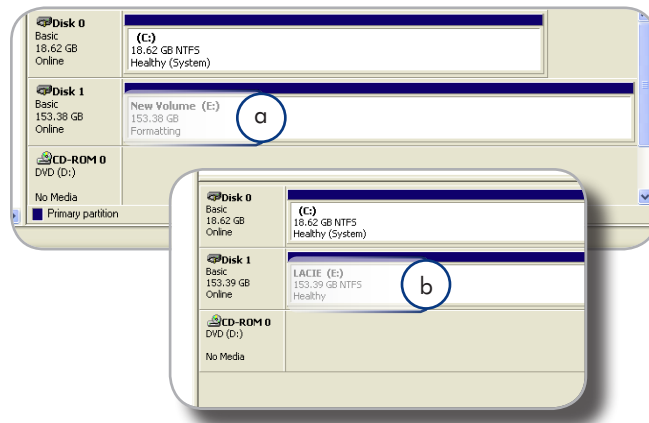


図 3.2.1-D

### 3.2.2. HFS+ (Apple ファイルシステム) から NTFS へのフォーマット

LaCie Setup Assistant を使用してドライブを Mac で使用するようフォーマットした場合、または Mac 上で LaCie ハード ディスクを HFS+ ボリュームとして再フォーマットした場合は、このセクションの次の手順に従ってください。

**注意：** この手順に従うと、ハード ディスクから全データが消去されます。保護したい情報や今後も使用したい情報がある場合は、手順を実行する前にバックアップを取ってください。

1. [マイ コンピュータ] を右クリックし、[管理] (図 3.2.2-A) を選択します。[コンピュータの管理] ウィンドウが表示されます。
2. [記憶域] から **ディスクの管理** を選択します ([ディスクの管理] オプションを表示するには、[記憶域] リストを展開することが必要な場合があります)。図 3.2.2-B を参照してください。コンピュータに接続されているすべての記憶域デバイスに関する情報が右側のペインに表示されます。
3. LaCie ハード ディスクに対応するディスクを見つけます。ディスク割り当てバーの [未割り当て] ボリュームを右クリックして、右クリック オプション メニューから **新しいパーティション...** を選択します (図 3.2.2B)。[新しいパーティション ウィザード] が開きます。

次のページに続く

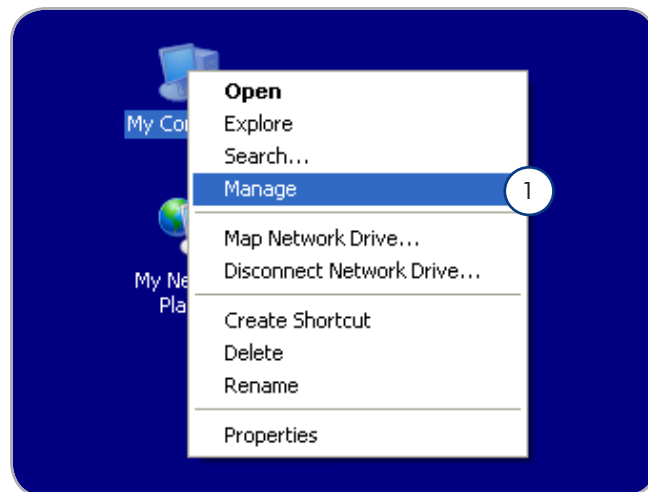


図 3.2.2-A

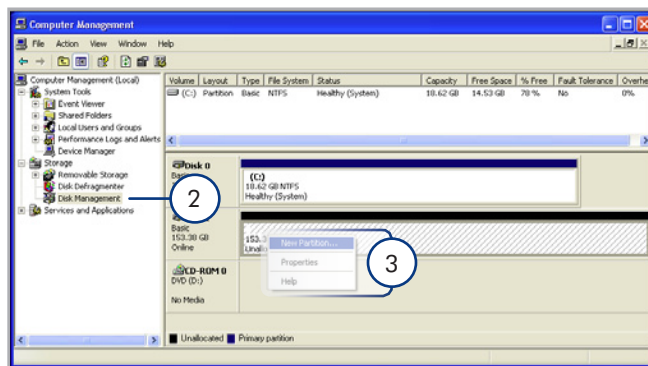


図 3.2.2-B

4. [Welcome to the New Partition Wizard (新しいパーティション ウィザードにようこそ)] 画面で、[次へ] をクリックします。
5. プライマリパーティション を選択して、次へ をクリックします。
6. ディスクに複数のパーティションを作成する場合は、最初のパーティションのサイズを [パーティションのサイズ (MB)] フィールドに入力します。 それ以外の場合は、デフォルト値をそのままにして、[次へ] をクリックします。
7. ドライブに割り当てるドライブ文字を選択します。 [Next (次へ)] をクリックします。
8. [Format this partition with the following settings] を選択して、コンピュータ上で表示するボリュームの名前を入力します。 [クイック フォーマットする] を選択します。 [次へ] をクリックします。 図 3.2.2-D を参照してください。
9. 設定を確認し、完了フォーマットを開始します。
10. フォーマット プロセス中に、[コンピュータの管理] ウィンドウのディスクのステータスが「フォーマット中」に変わります。 フォーマットが完了したら、ステータスは [正常] に変わります (b)。 図 3.2.2-E を参照してください。

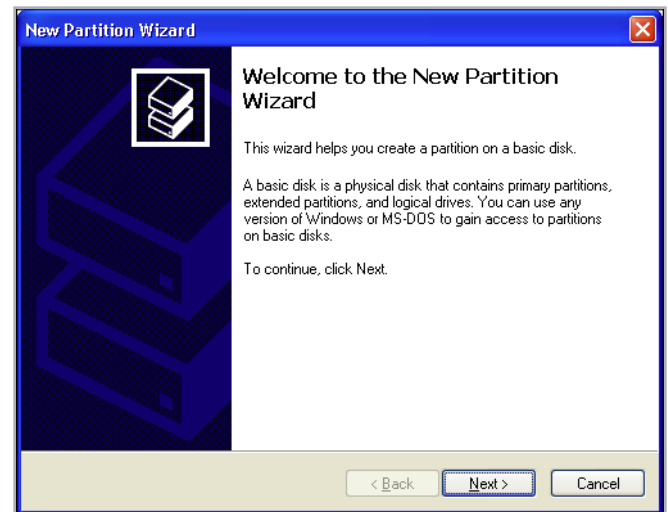


図 3.2.2-C

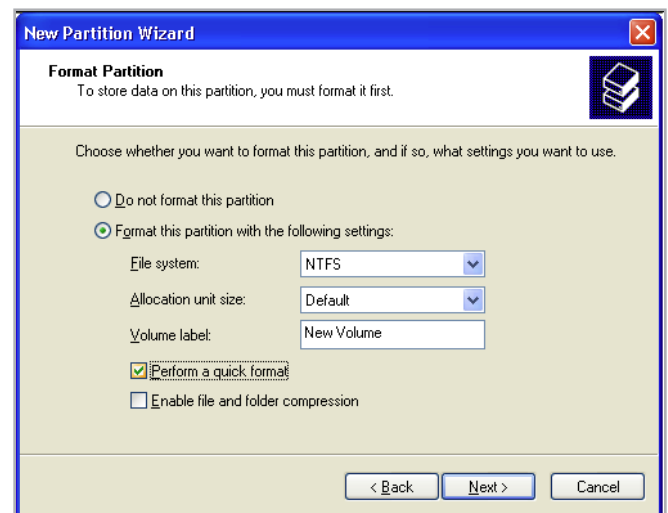


図 3.2.2-D

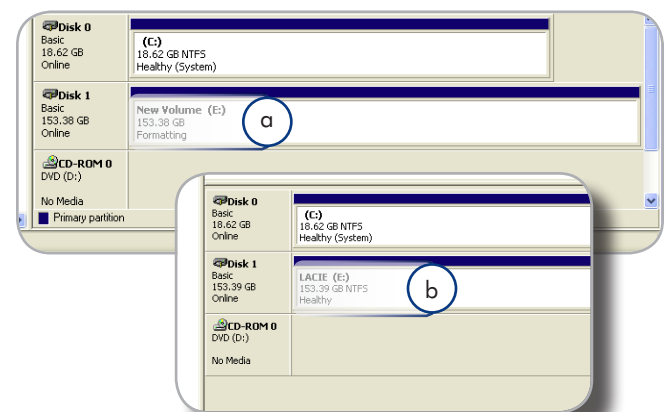


図 3.2.2-E

### 3.3. フォーマット:Mac をご使用の方

**注意:** この手順に従うと、ハード ディスクから全データが消去されます。保護したい情報や今後も使用したい情報がある場合は、手順を実行する前にバックアップを取ってください。

1. [Finder] の [移動] メニューから Utilites を選択します。
2. ディスクユーティリティを開きます。
3. [ディスクユーティリティ] ウィンドウの左側にあるディスクリストで、LaCie ハードディスクに対応するディスクを見つけます。各ディスクに対して、ドライブコントローラ用のリストとディスク上のそれぞれのボリューム用のリストがあります。コントローラのリストを選択します (例: 図 3.3-A の “153.4 GB HDT72251…”)
4. [パーティション] タブをクリックします。
5. Volume Scheme メニューからドライブを分割したパーティション数を選択します (最大 16)。[Volume Scheme] 領域にあるパーティション間のスライドバーを使用すれば、パーティションのサイズを調整できます。
6. [ボリューム情報] セクションで、各ボリューム (パーティション) の名前を入力し、ボリュームフォーマット (Mac OS 拡張、Mac OS 標準、UNIX ファイルシステム、または MS-DOS) を選択します。

**技術面での注意:** ボリュームを Windows ユーザーと共有するには、MS-DOS (FAT32) フォーマットを選択してください。

**重要な情報:** アップル社では、UNIX File System (UFS) を使用する特別な理由がない限り、Mac OS 拡張フォーマットを使用するよう推奨しています。これは、Macintosh ユーザーが従来から使用して慣れているためです。

7. [パーティション] をクリックします。警告メッセージを閉じる場合は、再度 [パーティション] をクリックして続行します。
8. 設定に従ってハードディスクのフォーマットとパーティションが行われます。これでハードディスクの使用準備が整いました。

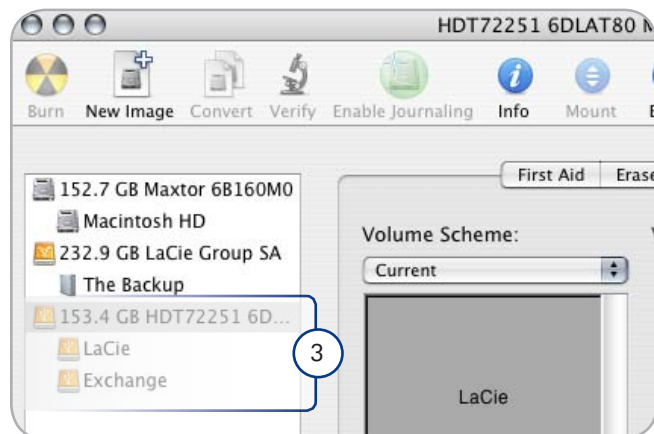


図 3.3-A

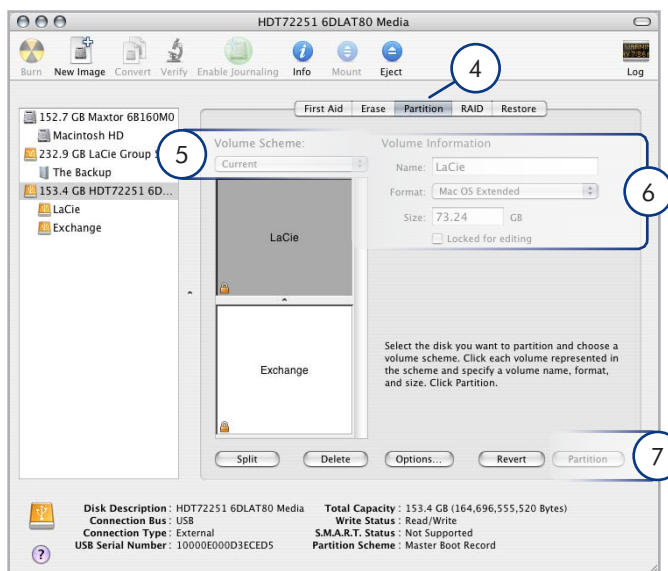


図 3.3-B

## 4. トラブルシューティング

LaCie ハード ディスクが正常に機能しない場合は、次のチェックリストを参照し、問題の原因をご確認ください。チェックリストの内容をすべて確認してもデバイスが正常に動作しない場合は、次の Web サイトに掲載されている FAQ をご一読ください - [www.lacie.jp](http://www.lacie.jp) FAQ の中から質問の回答が見つかる場合があります。また、ドライバのページもご覧ください。最新のソフトウェア アップデートを入手できます。

さらに詳しいサポートが必要な場合は、LaCie 販売代理店または LaCie テクニカル サポート (5. 「カスタマ サポートへの問い合わせ」を参照) にお問い合わせください。

### マニュアルの更新

LaCie では、市場の先端に行く包括的なユーザー マニュアルをお届けできるよう、常に努めています。新しいデバイスを迅速にインストールしてさまざまな機能を利用できるように役立つ、フレンドリーで使いやすいフォーマットをお客様に提供することが、当社の目標です。

お買い求めになられた製品の構成がマニュアルに記載されていない場合は、当社 Web サイトをご覧ください、入手可能な最新のバージョンのマニュアルをご確認ください。

[www.lacie.jp](http://www.lacie.jp)

### 4.1. Mac のトラブルシューティング

問題	質問	解決方法
コンピュータがデバイスを認識しない。	LaCie ハード ディスクのアイコンがコンピュータに表示されていますか。	LaCie ハード ディスクのアイコンがデスクトップに表示されているはずですが、ハード ディスクが表示されない場合は、この後に記載されているトラブルシューティングのヒントをすべて読んで、問題を解決してください。
	お使いのコンピュータは、本製品を使用するための必要なシステム要件を満たしていますか。	詳しくは、 <a href="#">1.2. 「システム要件」</a> を参照してください。
	ハード ディスクの電源が接続され、電源がオンになっていますか。	電源が正しく接続されていること (セクション 2.1 「 <a href="#">電源の接続</a> 」を参照)、ドライブ背面の On/Off/Auto ボタンを押してドライブの電源を入れたこと、電源を接続したコンセントがオンになっていることを確認してください。
	インタフェースと OS に適した手順でインストールを行いましたか。	<a href="#">2.1. 「電源の接続」</a> および <a href="#">2.2. 「インタフェース ケーブルを接続する」</a> のインストール手順を再度確認してください。
	eSATA または USB ケーブルの両端がしっかりと取り付けられていますか。	eSATA または USB ケーブルの両端を調べ、両端がそれぞれのポートに正しく取り付けられていることを確認してください。ケーブルを取り外し、10 秒経ってから再度接続してください。それでも HDD が認識されない場合、コンピュータを再起動して、もう一度接続し直してください。
	USB または eSATA ドライバが正しくインストールされ、使用可能な状態になっていますか。	[システムプロファイラ (Apple システム プロフィール)] を開き、[デバイスとボリューム] タブをクリックします。デバイスがリストに表示されない場合は、ケーブルを再度チェックし、ここに記載されているその他のトラブルシューティングのヒントを試してみてください。

問題	質問	解決方法
コンピュータがデバイスを認識しない。	その他のデバイス ドライバまたは機能拡張とコンフリクト (競合) していませんか。	LaCie テクニカル サポートにお問い合わせください。
コンピュータがデバイスを認識しない。	デバイスはフォーマットされていますか。	LaCie ハード ディスクが正しくフォーマットされているかどうかを確認してください。セクション3.「フォーマットおよびパーティション (オプション)」および3.1.「ファイル システム フォーマットの決定」を参照してください。
	お使いのコンピュータの OS で、ファイル システムがサポートされていますか。	コンピュータのマニュアルをチェックし、セクション3.1「ファイル システム フォーマットの決定」および3.「フォーマットおよびパーティション (オプション)」を参照してください。
Mac OS 10.x でエラー メッセージが表示される。	FAT 32 ボリュームへのコピー中、「Error -50」というメッセージが表示されましたか。	ファイルまたはフォルダを Mac OS 10.x から FAT 32 ボリュームにコピーすると、特定の文字はコピーされません。対応していない文字には次のようなものがありますが、これだけには限りません。< > / \ :ファイルとフォルダを調べ、このような文字が使われていないことを確認してください。
	スリープ モードからの復旧時に、デバイスが取り外されたことを伝えるエラー メッセージが表示されましたか。	このメッセージは無視してかまいません。デバイスがデスクトップに再マウントされます。LaCie ドライブは、コンピュータにスリープモードの設定を行ったときにスピンドウンして電源を節約します。コンピュータがスリープから「立ち上がった」ときに、スリープ モードからスピンアップするために少し時間がかかる場合があります。
デバイスの動作が遅い。	その他の USB または eSATA デバイスが、同じポートまたはハブに接続されていますか。	他の USB または eSATA デバイスをすべて取り外し、ドライブのパフォーマンスが改善されるかどうかを確認してください。
Hi-Speed USB 2.0 を介して接続しても、デバイスの実行速度が速くならない。	Mac OS 9.x で使用していますか。	Mac OS 9.x. 環境においては Hi-Speed USB 2.0 規格はサポートされていません。したがって、初代 USB 規格の遅い転送速度に制限されます。
	Mac OS 10.x で使用していますか。	Apple がネイティブ Hi-Speed USB 2.0 ポートを Apple コンピュータに組み込み始めたのは、ごく最近のことです。Hi-Speed USB 2.0 の転送速度を実現するには、Hi-Speed USB 2.0 PCI または PC カードをご使用のコンピュータに追加する必要があります。
	ドライブがコンピュータの USB ポートに接続されていますか、それとも USB ハブに接続されていますか。	ハード ディスクがコンピュータの USB ポートまたは USB ハブに接続されている場合は、通常の状態です。Hi-Speed USB 2.0 デバイスは Hi-Speed USB 2.0 ポートまたはハブに接続されたときのみ、Hi-Speed USB 2.0 のパフォーマンス レベルで動作します。Hi-Speed USB 2.0 ポートまたはハブに接続されていない場合は、Hi-Speed USB 2.0 デバイスは遅い USB の転送速度で動作します。
	デバイスはコンピュータの Hi-Speed USB 2.0 ポートに接続されていますか。	ホスト バス アダプタとデバイスの両方に Hi-Speed USB 2.0 ドライバが正しくインストールされているかどうかを確認してください。不確かな場合は、ドライバをアンインストールして、再度インストールしてください。

---

問題	質問	解決方法
Hi-Speed USB 2.0 を介して接続しても、デバイスの実行速度が速くならない。	ご使用のコンピュータと OS は、Hi-Speed USB 2.0 に対応していますか。	1.2.「システム要件」を参照してください。

---



## 4.2. Windows のトラブルシューティング

問題	質問	解決方法
コンピュータがデバイスを認識しない。	[マイ コンピュータ] にハードディスクのアイコンが表示されていますか。	[マイ コンピュータ]を開き、LaCie ハード ディスクのアイコンと割り当てられているドライブ文字を探します。ハード ディスクが表示されない場合は、この後に記載されているトラブルシューティングのヒントをすべて読んで、問題を解決してください。
	お使いのコンピュータは、本製品を使用するための必要なシステム要件を満たしていますか。	詳しくは、 <a href="#">1.2 「システム要件」</a> を参照してください。
	ハード ディスクの電源が接続され、電源がオンになっていますか。	電源が正しく接続されていること (セクション 2.1 「 <a href="#">電源の接続</a> 」を参照)、ドライブ背面の On/Off/Auto ボタンを押してドライブの電源を入れたこと、電源を接続したコンセントがオンになっていることを確認してください。
	インタフェースと OS に適した手順でインストールを行いましたか。	<a href="#">2.2.「インタフェース ケーブルを接続する」</a> のインストール手順を再度確認してください。
	eSATA または USB ケーブルの両端がしっかりと取り付けられていますか。	eSATA または USB ケーブルの両端を調べ、両端がそれぞれのポートに正しく取り付けられていることを確認してください。ケーブルを取り外し、10 秒経ってから再度接続してください。それでも HDD が認識されない場合、コンピュータを再起動して、もう一度接続し直してください。
	USB または eSATA ドライバが正しくインストールされ、使用可能な状態になっていますか。	[システムプロファイラ (Apple システム プロフィール)] を開き、[デバイスとボリューム] タブをクリックします。デバイスがリストに表示されない場合は、ケーブルを再度チェックし、ここに記載されているその他のトラブルシューティングのヒントを試してみてください。
	その他のデバイス ドライバまたは機能拡張とコンフリクト (競合) していませんか。	LaCie テクニカル サポートにお問い合わせください。
デバイスの動作が遅い。	その他の USB または eSATA デバイスが、同じポートまたはハブに接続されていますか。	他の USB または eSATA デバイスをすべて取り外し、ドライブのパフォーマンスが改善されるかどうかを確認してください。

問題	質問	解決方法
Hi-Speed USB 2.0 を介して接続しても、デバイスの実行速度が速くならない。	ドライブがコンピュータの USB ポートに接続されていますか、それとも USB ハブに接続されていますか。	ハード ディスクがコンピュータの USB ポートまたは USB ハブに接続されている場合は、通常の状態です。Hi-Speed USB 2.0 デバイスは Hi-Speed USB 2.0 ポートまたはハブに接続されたときのみ、Hi-Speed USB 2.0 のパフォーマンス レベルで動作します。Hi-Speed USB 2.0 ポートまたはハブに接続されていない場合は、Hi-Speed USB 2.0 デバイスは遅い USB の転送速度で動作します。
	デバイスはコンピュータの Hi-Speed USB 2.0 ポートに接続されていますか。	ホスト バス アダプタとデバイスの両方に Hi-Speed USB 2.0 ドライバが正しくインストールされているかどうかを確認してください。不確かな場合は、ドライバをアンインストールして、再度インストールしてください。
	ご使用のコンピュータと OS は、Hi-Speed USB 2.0 に対応していますか。	1.2.「システム要件」を参照してください。
Hi-Speed USB 2.0 を介して接続しても、デバイスの実行速度が速くならない。	Windows 98 SE または Windows Me を使用していませんか。	システムに対応していません。USB は Windows 98 SE と Windows Me では動作しません。
コンピュータの電源をオン/オフにすると同時に、ドライブの電源がオン/オフになります (USB 接続の場合)。	これは正常です。ご使用のドライブには、自動切り換えの電源機能があります。そのため、ドライブをコンピュータに接続した場合、コンピュータを起動するとドライブが自動的にオンになります。同様に、コンピュータを停止するとドライブは自動的にオフになります。コンピュータに接続した状態でデバイスの電源をオフにする場合、まずコンピュータがデバイスにアクセスしていないことを確認し、次に「2.4. LaCie ハード ディスクを取り外す」。ドライブを取り外したら、機器の正面にあるオン/オフ/オート ボタンを押して、ドライブをオフにします。	

## 5. カスタマ サポートへの問い合わせ

エレコム株式会社は、日本市場向けのLaCie製品を販売しています。本製品のテクニカルサポートおよび保証期間内の無償修理は、エレコムグループが対応いたします。

### テクニカルサポートへお問い合わせになる前に

1. このマニュアルをよくお読みになり、「トラブルシューティング」を再度ご確認ください。
2. 問題点を明確にしてください。可能であればCPU上の外付けデバイスを本製品だけにして、全てのケーブルが正しくしっかりと取り付けられていることを確認してください。

「トラブルシューティング」のチェックリストに全て目を通し、問題が該当しないかを確認願います。それでも本ドライブが正常に動作しない場合は、下記のURLより窓口をご確認ください。

ラシー テクニカルサポートセンター  
<http://www.lacie.jp/support/index.html>

情報	確認箇所
1. LaCie ハードディスクのシリアル番号	デバイス背面のシール、または納品時の梱包箱にあります。
2. Macintosh/PC の機種	Mac をご使用の方：メニューバーの Apple アイコンをクリックし、[この Mac について] を選択します。
3. オペレーティングシステムのバージョン番号	Windows をご使用の方：[マイ コンピュータ] を右クリックし、[プロパティ] > [全般] を選択します。
4. プロセッサの速度	
5. コンピュータ メモリ	
6. コンピュータにインストールされている内蔵および 外付け周辺機器のメーカー名とモデル名	Mac をご使用の方：Finderメニューバーのアップル アイコンをクリックし、[この Mac について] を選択します。[詳しい情報...] を選択します。Apple システムプロファイラが起動され、内蔵および外付け周辺機器がリストアップされます。 Windows をご使用の方：[マイ コンピュータ] を右クリックし、[プロパティ] > [ハードウェア]

## 5.1. LaCie カスタマ サポートへの問い合わせ

LaCie アジア <a href="http://www.lacie.com/cn/contact/">http://www.lacie.com/cn/contact/</a>	LaCie オーストラリア <a href="http://www.lacie.com/au/contact/">http://www.lacie.com/au/contact/</a>
LaCie ベルギー <a href="http://www.lacie.com/be/contact/">http://www.lacie.com/be/contact/</a> (オランダ語) <a href="http://www.lacie.com/befr/contact/">http://www.lacie.com/befr/contact/</a> (フランス語)	LaCie ブラジル <a href="http://www.lacie.com/us/contact/">http://www.lacie.com/us/contact/</a>
LaCie カナダ <a href="http://www.lacie.com/ca/contact/">http://www.lacie.com/ca/contact/</a> (英語) <a href="http://www.lacie.com/cafr/contact/">http://www.lacie.com/cafr/contact/</a> (フランス語)	LaCie デンマーク <a href="http://www.lacie.com/dk/contact/">http://www.lacie.com/dk/contact/</a>
LaCie フィンランド <a href="http://www.lacie.com/fi/contact/">http://www.lacie.com/fi/contact/</a>	LaCie フランス <a href="http://www.lacie.com/fr/contact/">http://www.lacie.com/fr/contact/</a>
LaCie ドイツ <a href="http://www.lacie.com/de/contact/">http://www.lacie.com/de/contact/</a>	LaCie アイルランド <a href="http://www.lacie.com/ie/contact/">http://www.lacie.com/ie/contact/</a>
LaCie イタリア <a href="http://www.lacie.com/it/contact/">http://www.lacie.com/it/contact/</a>	LaCie 韓国 <a href="http://www.lacie.com/kr/contact/">http://www.lacie.com/kr/contact/</a>
LaCie 中南米 <a href="http://www.lacie.com/la/contact/">http://www.lacie.com/la/contact/</a>	LaCie オランダ <a href="http://www.lacie.com/nl/contact/">http://www.lacie.com/nl/contact/</a>
LaCie ノルウェー <a href="http://www.lacie.com/no/contact/">http://www.lacie.com/no/contact/</a>	LaCie ポルトガル <a href="http://www.lacie.com/pt/contact/">http://www.lacie.com/pt/contact/</a>
LaCie シンガポール <a href="http://www.lacie.com/asia/contact/">http://www.lacie.com/asia/contact/</a>	LaCie 東南アジア <a href="http://www.lacie.com/sea/contact/">http://www.lacie.com/sea/contact/</a>
LaCie スペイン <a href="http://www.lacie.com/es/contact/">http://www.lacie.com/es/contact/</a>	LaCie スウェーデン <a href="http://www.lacie.com/se/contact/">http://www.lacie.com/se/contact/</a>
LaCie スイス <a href="http://www.lacie.com/ch/contact/">http://www.lacie.com/ch/contact/</a> (ドイツ語) <a href="http://www.lacie.com/chfr/contact/">http://www.lacie.com/chfr/contact/</a> (フランス語) <a href="http://www.lacie.com/chit/contact/">http://www.lacie.com/chit/contact/</a> (イタリア語)	LaCie 英国 <a href="http://www.lacie.com/uk/contact/">http://www.lacie.com/uk/contact/</a>
LaCie アメリカ合衆国 <a href="http://www.lacie.com/us/contact/">http://www.lacie.com/us/contact/</a> (英語) <a href="http://www.lacie.com/uses/contact/">http://www.lacie.com/uses/contact/</a> (スペイン語)	LaCie グランド エキスポート <a href="http://www.lacie.com/intl/contact/">http://www.lacie.com/intl/contact/</a>

## 6. 保証について

エレコム株式会社は、日本市場向けのLaCie製品を販売しています。本製品のテクニカルサポートおよび保証期間内の無償修理は、エレコムグループが対応いたします。

### ■保証内容

1. 弊社が定める保証期間（本製品ご購入日から起算されます）内に適切な使用環境で発生した本製品の故障に関り、

無償で本製品を修理または同等製品への交換をいたします。

### ■無償保証範囲

2. 以下の場合には、保証対象外となります。

- (1) 保証書および故障した本製品をご提出いただけない場合。
- (2) 保証書に販売店ならびに購入年月日の記載がない場合、または本製品のご購入日が確認できる証明書（レシート・納品書など）をご提示いただけない場合。
- (3) 保証書に偽造・改変などが認められた場合。
- (4) 弊社及び弊社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による本製品の改造、分解、修理がおこなわれている場合。
- (5) 弊社が定める仕様以外に接続、または組み込んで使用し、故障または破損した場合。
- (6) 通常一般家庭内で想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動等により故障した場合。
- (7) 本製品をご購入いただいた後の輸送中に発生した衝撃、落下などにより故障した場合。
- (8) 地震、火災、落雷、風水害、その他の天災地災、公害、異常電圧などの外的要因により故障した場合。
- (9) その他、無償修理または交換が認められない合理的な事由が発見された場合。
- (10) 本製品を日本国外でご購入された場合。

### ■修理

3. 修理のご依頼は、保証書の本製品に添えて、お買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターに送付してください。
4. 弊社修理センターへご送付いただく場合の送料はお客様のご負担となります。また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認できる手段（宅配や訪問書留など）をご利用ください。なお、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。
5. 修理・もしくは同機種での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただく場合があります。
6. 有償、無償にかかわらず修理等により交換された本製品またはその部品等は返却いたしかねます。
7. 記憶メディア・ストレージ製品において、弊社修理センターにてドライブ交換、製品交換を実施した際には、データの保全は行わず全て初期化いたします。記憶メディア・ストレージ製品を修理に出す前には、お客様ご自身でデータのバックアップを取っていただきますようお願いいたします。
8. 故障とは、本製品が本製品の仕様で定める通りに機能しないことを指します。外観損傷（本製品の傷や破損）については保証対象外となりますので、外観損傷に対する修理・修繕は行いません。

### ■免責事項

9. 本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行及び不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
10. 本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償・復旧等につきましては、弊社は一切責任を負いかねます。

### ■有効範囲

11. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。保証書は再発行しませんので、大切に保管してください。また、海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証もいたしません。日本国外ではその国の法律・規制により使用ができない、もしくは罰せられることがあります。弊社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。

**重要な情報:** 保証に関するご不明点は、弊社テクニカルサポートセンターまでお問い合わせください

サポートURL

<http://www.lacie.jp/support/index.html>